

2025 年度
一造会 すてきな造園空間をつくった
創意工夫・アイデアコンクール
募 集 要 項

2024 年 12 月 10 日



全国1級造園施工管理技士の会（一造会）
技術部会

1. 実施の目的

「一造会 すてきな造園空間をつくった創意工夫・アイデアコンクール」は、一造会 すてきな造園空間をつくった創意工夫・アイデア賞 表彰規定に基づき、以下に挙げる 3 点を目的として実施します。

- (1) 一造会会員が、創意工夫やアイデアを生かし、企画・計画・設計提案、施工、施設・空間の管理運営、業務のやり方の改善等をしたことにより、造園空間の価値を向上させエンドユーザーを満足させた取り組みや、仕事の生産性を向上させた取り組みを発見し、その功績や意義を称え、認めること。
- (2) 一造会会員が、当コンクールに応募された取り組みを共有し、「すてきな造園空間の創出」や「おさまりや出来栄えの品質向上」、「造園の仕事の生産性向上」等をさらに意識して今後の造園の仕事に取り組めるようにすること。
- (3) 一造会会員による造園技術者としてのすばらしい創意工夫やアイデアの取り組みを広く社会一般に発信すること。

2. 実施体制

(1) 主催等

- ・主催：全国 1 級造園施工管理技士の会（一造会）
- ・協力：故 高城 雄三 氏（株式会社 CSS 技術開発 創業者・元社長）

(2) 問い合わせ先

全国 1 級造園施工管理技士の会（一造会）事務局 担当：矢部 正治
〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-20-11 造園会館内
TEL：03-6455-0426 e-mail：info@icz.jp

3. 作品の募集、応募

(1) テーマ

“造園技術者の創意工夫・アイデアで、造園空間の価値を向上させエンドユーザーを満足させたり、日々の仕事の生産性を向上させたりした取り組みの発見”をテーマに、造園の設計・施工や、公園緑地等の管理運営、また造園の業務手法等について、一造会会員が生み出した創意工夫やアイデアの取り組みと、それを実践した後の場の状況をわかりやすく写真に撮り、解説文、アピール文とともに応募してください。

(2) 対象となる取り組み

2015年4月1日（2015年度）から2025年3月31日（2024年度）までの10年の間に一造会会員が取り組んだもので、他のコンクール等に未発表の創意工夫・アイデアを取りまとめた写真、解説文を対象とします。なお、応募者は、当コンクールへの応募について当該施設の所有者、または管理者等から必ず了承を得てください。

(3) 応募資格

代表者（応募者1）は、当該造園工事や公園緑地等の管理運営に携わった一造会正会員（個人技術者、および正会員の法人に所属し正会員として氏名が登録されている方）とし、連名者（応募者2やその他応募者）は、その仕事と一緒に取り組まれた方とします。

(4) 応募票と応募作品フォーム

応募される方は、一造会のホームページ（下記）より応募票と応募作品フォームをダウンロードしてご応募ください。 <https://www.icz.jp/>

(i) 応募票（下記図1参照）

応募票には、創意工夫・アイデアの題名、応募者の氏名、連絡先等の必要事項を記入してください。

応募日：2025年 月 日 ※1

2025年度 一造会 すてきな造園空間をつくった創意工夫・アイデアコンクール

応募票

受付 No. ※2	
創意工夫・アイデアの題名	
応募部門 ※3	<input type="checkbox"/> 造園工事 <input type="checkbox"/> 植物管理 <input type="checkbox"/> 公園緑地等の管理運営 <input type="checkbox"/> 業務の改善・効率化
応募者1（代表者）の氏名 ※4	
CPD登録番号	
所属先名	
所属先住所	
連絡先TEL	
E-mail	
応募者2（連名者1）の氏名 ※5	
CPD登録番号	
所属先名	
所属先住所	
連絡先TEL	
E-mail	
その他応募者（連名者2）の氏名・CPD登録番号 ※6	

※1 応募日を記載してください。

※2 コンクール事務局にて採番しますので、記載不要です。

※3 あてはまる部門を選択してください。

※4 取り組みに携わった一造会正会員、もしくはその者を含む協同グループを1名記載してください。

※5 取り組みに対して代表者以外に特に携わった者がいる場合は、「連名者1の欄」に1名を記載してください。

※6 取り組みに対して代表者と連名者1以外に携わった者がいる場合は、「連名者2」にその者の氏名（複数可）とそのCPD登録番号を記載してください。

図1 応募票の例

(ii) 応募作品フォーム（下記図2参照）

応募作品フォームには、下記①～③の写真を JPEG データで貼り付けてください（合計最大 4 枚）。

- ① 写真 1；自分の創意工夫、アイデアを生かしてつくられたすてきな造園空間の写真
- ② 写真 2；通常の一般的現場の写真、もしくは当該現場における工事や指定管理等の発注時の設計図書をカメラで撮った写真
- ③ 写真 3 と 4；自分が生み出した創意工夫やアイデアの取り組みがわかる写真

 <p style="text-align: center;">参考イメージ</p> <p>※参考であり「千葉市蘇我スポーツ公園」のHPより引用。作品は自ら撮影する。 写真1 仕上がったグラウンドゴルフ場で楽しくプレーしている利用者</p>		 <p>※参考であり「上々パークゴルフ」の資料より引用。作品は自ら撮影する。 写真2 通常のゴルフ場コースにおける排水樹グレーチング蓋</p>		創意工夫 の アイ デア の 題 名	2025年度 全国1級造園施工管理技士の会（一造会） すてきな造園空間をつくった創意工夫・アイデアコンクール		
 <p>※参考であり「上々パークゴルフ」の資料、「MCCスポーツ」および「吉原化工」のHPより引用。実際の作品は自らのアイデアを撮影する。 写真3 透水性人工芝マットを被覆番線と鎖製蓋に固定し天然芝と一体化</p>		 <p>※参考であり「MCCスポーツ」と「吉原化工」のHPより引用。実際の作品は自らのアイデアを撮影する。 写真4 人工芝を立体網状マットの上にU型ピンで固定した人工芝マットを発想</p>				ぐみどりに包まれた排水良好なコース環境で グラウンドゴルフを楽しんでもらうために	
アピールポイント 改修工事を受注した●●公園において、当該グラウンドゴルフ場のコース内排水用グレーチング蓋に対し、アイデアを施した。みどりの空間として一体化させコースの景観を損ねないこと、降雨を効率的に排水させること、プレー中のボールの跳ね返りを抑えること3点をポイントに置き、グレーチング蓋の面積に合わせて人工芝と立体網状マットを重ね合わせたマットを製作し、蓋に敷設・固定した。これにより利用者にもどりに包まれた排水良好なグラウンドゴルフ場を提供できた。		No. 記載不要					応募者1 楠 大樹 (主任技術者)
部門 <input checked="" type="checkbox"/> 造園工事 <input type="checkbox"/> 植物管理 <input type="checkbox"/> 公園等の管理運営 <input type="checkbox"/> 業務改善・効率化		応募者2 松野 梢 (作業主任)					その他応募者 山野 みどり 枝野 紗季 青井 暁 植木 幹太
		取り組み時期 2020年4月～2020年10月		現場の所在地 千葉 県市			
		撮影日 2020年11月					

図2 応募作品フォームの例

また写真には、それぞれ明瞭な説明文を記載し、さらにアピールポイントなど必要事項をご記入のうえ提出していただきます。アピールポイントは、写真に示された取り組みを説明主張するものであり、自分がその仕事にどのような立場で携わり、当初計画や課題はどういったことで、それに対してどのように考え、実際に創意工夫やアイデアをどこにどのように施したのかを簡潔に記載してください。

(iii) 補助説明資料（希望者のみ、下記図3参照）

当コンクールの選考は、創意工夫・アイデアに関する最大4枚の写真とそれぞれの写真の説明コメント、およびアピールポイント文を評価いたします。しかし、それだ

けですべてを説明しきれないという応募者については、「補助説明資料」の提出を認めます。この内容は、1つの創意工夫・アイデアの取り組みにつき別途最大4枚までの写真、各写真の説明コメント、補助説明文とします。補助説明資料は、取り組みそのものをより理解しやすくするためのあくまで補助的資料です。この資料の提出は希望者のみとし、応募に対して必須ではありません。

2025年度	補助説明用写真①		補助説明用写真②		のアイデア 創意工夫								
						写真1 (写真の説明コメント)		写真2 (写真の説明コメント)					
	補助説明用写真③		補助説明用写真④			応募者1							
						写真3 (写真の説明コメント)		写真4 (写真の説明コメント)		()			
	補助説明文					<table border="1"> <tr> <td>取り組み時期</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>～</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>年</td> <td>月</td> <td></td> </tr> </table>	取り組み時期	年	月	～	撮影日	年	月
取り組み時期	年	月	～										
撮影日	年	月											

図3 補助説明資料フォームの例

(5) 応募作品数

一人最大5点までとします。それぞれ異なる創意工夫・アイデアの取り組みと認められる場合は、同一の物件、現場であっても複数の作品を応募することができます。

(6) 応募期間

- (i) 応募表明期間；2025年1月10日から2月14日まで
- (ii) 作品応募期間；2025年2月15日から3月31日到着分まで

(7) 受付窓口と作品等提出方法

- (i) 受付窓口
 - 全国1級造園施工管理技士の会（一造会）事務局
 - TEL：03-6455-0426（担当：矢部 正治）

(ii) 提出方法

下記メールアドレスへ電子メールにて Excel データでご送付ください。

e-mail : info@icz.jp

4. 作品の審査、表彰

(1) 審査方法

審査は、すてきな造園空間をつくるために取り組まれた優れた創意工夫やアイデア、業務改善手法を評価するため、まずインターネットによるいいね！投票と一造会イベント会場での紙投票を行い、得票数を集計します。併せて次に示す選考委員による選考委員会を開催し、別に定める「評価基準採点表」に基づきそれぞれの優秀アイデアを選定します。

評価基準は、「造園技術の発揮」、「顧客や利用者の満足」、「現場条件の理解と対処」、「造園景観としての美しさ」、「時間軸を意識した仕事」、「独自の創意工夫・アイデア・業務改善手法」の6項目です。選考委員会では、写真写りがきれいかどうかというよりも、すてきな造園空間をつくることに寄与する創意工夫・アイデア、もしくは業務改善手法がみられるかどうかを特に重視して入選を決定します。

(2) 選考委員

	氏名	所属・役職等
委員長	近江 慶光	千葉大学大学院 園芸学研究院 助教
副委員長	藤本 加奈子	一造会 副会長
委員	芦田 浩史	独立行政法人 都市再生機構 技術監理部
委員	梶井 直和	一造会 フェロー
委員	金澤 弓子	東京農業大学 地域環境科学部 准教授
委員	松本 朗	一造会 常任相談役

(敬称略、五十音順)

(3) 事務局

	氏名	所属・役職等
事務局長	諸井 泰司	一造会 技術部会 部会長
事務局	黒子 典彦	一造会 広報部会 部会長
事務局	田村 賢二	一造会 技術部会
事務局	橋本 潤	一造会 技術部会 副部会長
事務局	守安 省吾	一造会 技術部会
事務局	矢部 正治	一造会 事務局

(敬称略、五十音順)

(4) 審査発表

- (i) 選考委員会：2025年6月中旬を予定
- (ii) 入選発表：2025年8月以降に一造会ホームページ（下記）に結果を掲載
<https://www.icz.jp/>

(5) 表彰式

2025年7月（予定）の一造会イベント会場にて開催

(6) 贈呈する賞 最大8作品

賞	入選数	贈呈品
金賞（優秀の中で最も優れた創意工夫・アイデア・業務改善手法として評価されたもの）	最大 1点	表彰プレート、副賞（約90,000円分）： 北海道などを楽しむ旅行券、ビール1年分、お米2.5年分、ハーゲンダッツアイスクリーム2.5年分からご希望のものを1つ
銀賞（優れた創意工夫・アイデア・業務改善手法として評価されたもの）	最大 2点	表彰プレート、副賞（約36,000円分）： ビール4.8か月分、お米1年分、ハーゲンダッツアイスクリーム1年分からご希望のものを1つ
銅賞（努力がみられた創意工夫・アイデア・業務改善手法として評価されたもの）	最大 5点	表彰プレート、副賞（約24,000円分）： ビール3.2か月分、お米8か月分、ハーゲンダッツアイスクリーム8か月分からご希望のものを1つ

※選考委員会の判断により、別途「特別賞」、「奨励賞」等を選出することがあります。

(7) 入賞作品および使用权

- (i) 入賞作品は、一造会ホームページ、一造会会報、その他広報宣伝物等へ掲載する場合があります、次回作品コンクール開催時の宣材等に無償で使用させていただきます。なお、作品名、作者名の明示やトリミングの有無等、使用权はすべて主催者に帰属します。
- (ii) 応募作品の著作権は撮影者に帰属します。
- (iii) 肖像権、著作権に抵触しないようご注意ください。万が一、問題が生じた場合、主催者は一切責任を負いません。
- (iv) 応募された作品は返却いたしません。
- (v) コンクールの審査結果に関するお問い合わせには対応いたしません。

※入賞とは、金賞、銀賞、銅賞、特別賞、奨励賞のいずれかの賞に該当する場合があります。

(8) 入賞作品の展示

2025年7月開催（予定）の一造会イベント会場にて展示することを予定しています。

5. 造園 CPD 単位取得

「一造会 すてきな造園空間をつくった創意工夫・アイデアコンクール」は、造園 CPD 認定プログラムであり、応募者および受賞者にはそれぞれ以下の造園 CPD 単位が認められます。

(1) 応募に関する単位取得

- (i) 教育形態Ⅱ. 論文等の発表（260、265）「造園 CPD 協議会構成団体主催のコンクール等への新規作品の出展・応募」として、以下の造園 CPD 単位が認められます。なお、一造会は造園 CPD 協議会構成団体です。

対象者	造園 CPD 取得単位数
応募資料の作成に従事した代表者：応募者 1（1 名）	10 単位/1 件
応募資料の連名者：応募者 2 とその他応募者（複数可）各人	5 単位/1 件

- (ii) 応募に関する単位取得の日付は、1 次選考会を経て作品が受理された日（2025 年 4 月中旬予定）となります。

(2) 受賞に関する単位取得

- (i) 教育形態Ⅴ. 業務評価（520、525）「造園 CPD 協議会構成団体主催のコンクール等での受賞」として、受賞作品ごとに以下の造園 CPD 単位が認められます。

対象となる受賞作品	造園 CPD 取得単位数
金賞・銀賞・銅賞・ 特別賞・奨励賞	代表者（1 名）：20 単位/1 件 連名者（複数可）各人：10 単位/1 件

- (ii) 受賞に関する単位取得の日付は、選考委員会を経て受賞が通知された日（2025 年 7 月予定）となります。

以上の教育形態・区分番号等についての詳細は、「造園 CPD ガイドブック -第 6 版-（2023 年 4 月 1 日施行）」をご確認ください。公益社団法人日本造園学会の造園 CPD ホームページ（下記）よりダウンロードすることができます。

<https://service2.kktcs.co.jp/lacpd/hp/news/Main.htm>

また、単位登録は自己申請となります。詳細は、日本造園学会ホームページの「造園 CPD」、「教育形態表とエビデンス」、「教育形態表（2023 年度版）」をクリックし、「造園 CPD 実施記録の自己登録ガイド（2023 年 4 月）」を参考にさせていただきます。

6. 実施スケジュール

時 期	実 施 事 項	備 考
2024年12月10日~3月31日	募集要項の発表	HP、メールリスト、DM他
2025年1月10日~2月14日	応募者からの応募に関する事前申請	
2025年2月15日~3月31日	作品の募集	
2025年4月中旬	応募作品の一次選考	コンクール事務局による選考
2025年5月上旬~6月上旬	いいね！投票	インターネット投票
2025年5月下旬	一造会イベント会場での紙投票	一造会の対面イベント等にて
2025年6月中旬	入選作品の最終選考（選考委員会）	コンクール選考委員による選考
2025年7月	入選発表・表彰式・入選作品プレゼン	一造会イベント会場にて
2025年8月	受賞作品の掲載	一造会HPに掲載
2026年3月	受賞作品の掲載	一造会会報（冊子）に掲載

※上記はあくまで予定であり、社会情勢等により変更になる場合があります。

以上